

Fusyo Collaboration letter



5月16日 No.8 文責 廣田 秀俊

CHALLENGE を続けていくこと

本校で開催される学校評議員会は、年3回行われます。その1回目を14日(水)に実施しました。参加された方は、元中津市教育長 栗田英代様 大分市教育委員会教育監 野田秀一様 附属小学校後援会副会長 宮永尚様 別府大学学生部事務部長 村上健様の4名です。

授業参観後、小学校担当者より学校経営、校内研究、学校評価についての説明をさせていただきました。それぞれの委員様から貴重なご意見をいただきました。今後に活かしていきます。

【学校経営について】

- ・子どもと教職員の信頼関係ができています
- ・経営方針が学校で浸透されており、教職員のベクトルがそろっている
- ・長年にわたる附属小学校の保護者の協力が子どもの姿にあらわれている
- ・学びの本質(子どもたちがやりたいことを学ぶ)を見据えて実践しようとしている
- ・グローバルリーダー育成のためのミッションを具体的に考えている
- ・CHALLENGE していこうという学校の姿勢が伝わってくる
- ・月ごとのマネジメントを教職員と共有しようとしている
- ・電子黒板導入等、生産性・効率性を高める教育を前進させてほしい



【研究方針等について】

- ・附属小をあげて3年後、5年後を見据えた教育を目指して欲しい
- ・子どもたちの表情や行動から、よく考えて学んでいる姿が見られる
- ・子どもたちの学びたいという意欲が随所で現れているように見えた
- ・公立学校では学びを嫌いになっている指導をしていないかが課題となっている
その事項を解決し、先導していく姿を附属小が担って欲しい
- ・VUCA の時代を生きていくためのグローバルな視点で研修を行っている
- ・附属小の学びからワクワク感が伝わってくる
- ・どのような社会をつくりあげていくか、教育が社会をつくっていくという意識を高めていく
- ・グローバルリーダーを育成するためには、思い込みをなくし、偏見を排除していくことが大切
- ・グローバルリーダーをキーワードに具体的に行動していることが伝わってきた
- ・地域の子どもたちとのふれあい活動を広げていく実践(附属小と他校とのふれあい等)
- ・「働くとは？」を見越した教育が今後必要になってくると考えられる

